



伝統と今を大切にする

堅川中だより

第5号

令和6年9月2日
墨田区立堅川中学校
発行 校長 稲垣 吉実

「酷暑の夏休みを終えて」！

夏季休業後指導校長講話より

おはようございます。44日間の夏休みがあつという間に終了し、今日からまた、学校生活が始まります。今年の夏休みも、大変な暑さで、熱中症警戒アラート（暑さ指数が33を超える場合）が連日発令され、熱中症対策が当たり前の夏休みになりました。隅田川の花火大会や関東第一高校が準優勝した夏の甲子園の高校野球でも、もうコロナ対策よりも熱中症対策で大変だったようです。

そして、この夏休み中は、なんとと言ってもパリ2024オリンピックの話題で盛り上がりました。連日、私もテレビの前で、日本の選手の活躍に一喜一憂しながら釘付けになりました。その結果、オリンピックのメダル数は、3年前の無観客で行った東京オリンピックでの58よりは減りましたが、外国で行ったオリンピックでは過去最高の45個（金20銀12銅13）となり、アメリカ、中国に次いで3番目のメダル数でした。そのメダリスト達が口をそろえて言っていたのは「応援してくれた周りの人たちのおかげでこのメダルを取れました」という自分の努力よりも周りの人のおかげという言葉が印象的でした。周りの人の支えに感謝し、目標を持って、精一杯努力していけば、「ここ一番」で力が発揮できる事を改めて感じました。しかし、負けてしまった選手に誹謗中傷のメールが多数届いたというニュースには本当に心が痛みました。是非皆さんには頑張っている人を素直に応援できるようになってほしいと思います。

さて、話は変わりますが、今年のお盆休みには、宮崎県で震度6弱の地震があり、その後南海トラフ地震臨時情報が発令されました。また、台風7号も関東に接近するなど連日防災に対する注意の呼びかけがありました。今日は、避難訓練も行われますが、是非皆さんも30年以内に70%の確率で来るであろう首都直下型地震にしっかり備えて防災意識を高めてほしいと思います。

最後になりますが、今年も、各教室や廊下がワックスがけされ、本当にきれいな環境で夏休み後の生活が迎えられます。「良い環境が人を作る」の言葉通り皆さんも一日も早く休みぼけを一掃し、9月には、前期期末考査があり、10月には、生徒会選挙や国立競技場での連合陸上大会もあります。今後もチーム堅川中の団結力をより一層強めて、よりよい環境をつくっていきましょう。

9月の予定

1	日	
2	月	夏季休業後指導 避難訓練
3	火	地理コンテスト
4	水	定例・代表委員会
5	木	
6	金	職員研修
7	土	
8	日	
9	月	生徒朝礼
10	火	
11	水	職員会議 NO 残業 DAY 定期考査 1 週間前 諸活動停止期間開始
12	木	
13	金	合同社会科見学(5)
14	土	
15	日	
16	月	敬老の日
17	火	
18	水	定期考査 1 日目
19	木	定期考査 2 日目
20	金	定期考査 3 日目 安全指導 諸活動停止期間終了 部活動再登校 プール指導(終)
21	土	
22	日	秋分の日
23	月	秋分の日の振替休日
24	火	
25	水	中学校体験入学
26	木	
27	金	第 2 回英語検定
28	土	
29	日	
30	月	

※ () 内の数字は学年や 5 組をあらわしています。 例 (5) : 5 組

【1学年】

44日間の夏休みが終わり、学校生活が再開しました。9月2日、教室で元気に挨拶してくれる生徒を見てみると、心も体も一回り大きくなったような気がします。夏休み期間中の生活の記録を読んでもと、部活動に精一杯取り組んだ生徒、家族や友達と出かけて普段はできない貴重な体験をした生徒、なかなか会えない親戚に会い、その成長ぶりに驚かれた生徒、秋の検定試験に向けて学習に取り組んだ生徒、後回しにしていた宿題に苦しんだ生徒など、皆充実した夏休みを過ごしたことが伝わってきました。9月からもそれぞれが学校生活を楽しみながら、授業に主体的に取り組む、行事に燃え、自分の役割を果たして、様々な力を身につけていって欲しいと思います。

10月の野外体験学習に向けて「自宅でカレー作りに挑戦する」という夏休みの宿題がありました。生徒が作るカレーはどれもとても美味しそうで、10月の本番が楽しみになりました。調理中の様子を収めた写真を少しずつですが紹介したいと思います。



【2学年】

生きる～災害に備える

夏休みに入ってすぐ、南海トラフ地震が起こり、酷暑が続いたと思えば台風やゲリラ豪雨。公共交通機関も止まり、家族旅行や、遊びの予定など、思うようにいかなかった人も多かったのではないのでしょうか。さらに8月の終わりには、世間は米不足の話題で持ちきり、育ち盛りの皆さんは、給食が恋しくて仕方なかったのではないのでしょうか。

そんな夏に思うこと。それは「災害に備える」ことの大切さです。

心配して不安で怯えて暮らすのでは、いけません。今できる準備と心構えをしておくことが、窮地に立たされたときに、自分の命を守ることにつながるのです。日本は海に囲まれ、山を背骨にもつ島国です。様々な災害が高頻度・高確率で発生するという前提で、対策をしていくべきでしょう。それを家族ぐるみで考える機会となったのではないのでしょうか。

去る大正12年9月1日は、東京都「防災の日」です。甚大な被害をもたらした関東大震災の起こった日です。190万人が被災し、105,000人あまりが死亡または行方不明になったといわれます。時刻は11:58。ちょうどお昼時の出来事でした。

「いつ、災害がおこっても」落ち着いて行動し、身の安全を守るため、「危険を知る」「準備をする」を心がけていきたいものだと思えてきた夏でした。

夏休み明け、明るい顔の生徒たちと会えたこと、本当に良かったです。

これから始まる学校生活も、大変なこと、難しいこともあるでしょう。安心して「当たり前」を過ごせること、「毎日」を送れることを大切に、2年生の今できること、やれることを全力で取り組んでみましょう。

定期考査、部活、学年行事や合唱などの行事が始まります。楽しんで、頑張りましょう！

【3学年】

少し先の未来の自分を想定して目標を立ててみましょう。前期が終わる頃・後期が始まる頃・卒業する頃など、区切りの時期を決めて、その時にはこうなっておきたいと具体的な目標設定ができていれば、日々の授業や活動に意義が見いだせるのではないのでしょうか。学習面や生活面、得意分野を伸ばすのか苦手分野を克服するのか、自分なりの課題・目標を見据えて取り組むことが力を発揮することにつながります。

これから生徒会選挙、豎中フェスティバル、文化祭、面接練習などがあります。行事に臨む際に、みんなで協力して成功させようという経験はとても貴重で大切なことです。豎中生としての集団の力を存分に発揮してくれることを期待します。

来週には助産師・看護師による出前授業5・6時間目（体育館）保護者の方もご参観いただけます。平日の開催にはなりますが、お時間がございましたらぜひご来校ください。

【5組】 「学校生活の充実」

長い夏休みが終わり、通常の学校生活が再開します。そして、約1ヶ月で前期が終わり、各学年の折り返し地点に到達します。4月に入学や進級をしてから、一人一人にとって様々な出来事や思い出に残ることがあった前期の学校生活ですが、各自の成長や変化、反省などについて改めて振り返り、今後の充実した学校生活につなげていってほしいと思います。

さて、5組は秋に行事がたくさんあり、9月は「墨田区合同社会科見学（区内5校で栃木県立博物館・バンダイミュージアム）」、10月は「野外体験活動」、「墨田区連合陸上競技大会」「東京都陸上競技大会」「豎中フェスティバル」「都内めぐり」、11月は「文化祭」などがあり、12月以降も行事は続きます。

まずは日々の学習活動の積み重ねが大切ですが、日常生活とは違う行事を通して大きく成長することも多いので、事前・事後学習も含めてしっかりと取り組み、各行事を楽しみ、成長や貴重な思い出作りにつながっていくことを期待しています。

【食育】 日本の普段の食事

1ページ目の校長先生のお話にもあるように、この夏はパリオリンピックのニュースをよく目にしました。ニュースには選手村の食事のこともありました。それによると、食事はあまり良いものではなかったようなことが書かれていて、2021年の東京大会の食事が再評価されているようでした。

日本の食事は、寿司やみそ汁などのような伝統的なものから、カレーやラーメンなど外国由来の料理まで様々です。錦糸町周辺を思い浮かべても、お寿司、牛丼、カレー、ラーメン、洋食と、多国籍な食事を楽しめます。東京大会では多くの人にとって、どこことなく懐かしさと日本らしさを味わえる食事だったことが好評を博したのかもしれませんが。

普段の食事でも、ホッとする気持ちとわくわくする気持ちがいい塩梅であるとおいしく感じてもらえるだろうと思います。9月からの給食でもそのあたりを目指していきたいと思います。